

令和8年7月三田市教育委員会定例会会議録

○開催日及び場所

令和8年7月30日(木)午後2時00分開会
午後3時07分閉会
三田市役所 南分館 601会議室

○議事日程

日程第1 開会
日程第2 前回会議録の報告、承認
日程第3 会議録署名委員指名
日程第4 会期の決定
日程第5 教育長の報告
日程第6 議事 議案第20号から議案第21号
日程第7 協議及び報告事項 協議第4号
報告第18号から報告第19号
日程第8 その他

○会議に出席した 委員(4名)

1番	加嶋幸彦	2番	大野裕己
3番	三木尚美	4番	ルーベッシュ裕子

○説明のため出席 した者(12名)

学校教育部長 山本直也 学校教育部次長 井上久敏
(兼学校再編担当)
学校教育部次長 久保修一 教育総務課長 上月研一
(兼教育総務課担当課長)
学校再編課長 橋本純子 学校教育課長 神戸康正
学校教育課担当課長 市原敦 地域クラブ推進課長 藤田崇宏
教育研修所長 西浦健司 学校給食課長 宮城信之

三田市立学校図書選定委員会 委員長 伊藤博之
副委員長 福岡孝太郎

○代表学校長 (2名)

中学校校長会代表 藤井許善
小学校校長会代表 足立延也

○会議に関係した

教育総務課 斉藤 健史
清家 梨奈子

事務局員（２名）

○会議録署名委員

教 育 長 加 嶋 幸 彦

教 育 委 員 大 野 裕 己

日程第１ 開 会

○教育長
（加嶋 幸彦）

ただいまから令和８年７月第３３４回三田市教育委員会定例会を開会いたします。

本日、議案第２０号「ＧＩＧＡスクール用コンピューター（ｉｐａｄ ＯＳ端末）の処分について」は未確定の情報等を含んでいるため、また、報告第１８号「職員の分限処分について」は、特定の個人情報を含むため、これらの議案を非公開とし、全ての議事及び報告等が終了した後に審議したいと考えますが、いかがでしょうか。

○教育委員

（異議なし）

○教育長
（加嶋 幸彦）

では、議案第２０号および報告第１８号は非公開とすることといたします。非公開議案の資料については後ほどお配りいたします。

日程第２ 前回会議録の報告、承認

○教育長
（加嶋 幸彦）

それでは前回会議録の報告を事務局よりお願いします。

○教育総務課長
（上月 研一）

（令和８年６月２６日教育委員会定例会会議録より説明）

○教育長
（加嶋 幸彦）

ご質問等ございませんでしょうか。
なければ、このように承認させていただきます。

日程第３ 会議録署名委員指名

○教育長

それでは、会議録署名委員の指名に移ります。

(加嶋 幸彦)

会議録署名委員は、2番 大野 裕己 委員にお願いします。

日程第4 会 期 の 決 定

○教育長
(加嶋 幸彦)

会期は本日一日、令和8年7月30日木曜日午後2時00分開会といたします。

日程第5 教 育 長 の 報 告

○教育長
(加嶋 幸彦)

- 1) 「兵庫県立三田祥雲館高等学校SSH運営指導委員会」
6月29日(月)同校においてSSH運営指導委員会が開催されました。この事業に取り組み15年以上が経過し、さらに特色ある新たな教育課程の開発に取り組んでいます。今回は、運営指導委員である大学や人と自然の博物館の研究者、企業経営者、本市の行政関係者などが一同に会して、今年度の取組と来年度以降の次期構想について協議しました。
- 2) 「感謝と飛躍のつどい」
7月1日(水)市政69年目を迎えたこの日、「感謝と飛躍のつどい」が開催されました。三田市さつき賞では、自治や社会福祉、消防・防災・防犯などの分野で功労のあった1団体5名の方を、PILLER2026さんだチャレンジャーズアワードでは、本市の出身者あるいは中学や高校に在籍、卒業して活躍された12名の方を、三田市技能金蘭賞では三田にゆかりのある名匠や優れた技能者1名の方を、それぞれ表彰しました
- 3) 「三田国際マスタースマラソン実行委員会」
7月2日(木)総合福祉保健センターでの実行委員会に出席しました。今年度は12月20日に開催され、委員会では、昨年度大会の事業報告、今年度の事業計画等が協議されました。今年度から日本陸上競技連盟公認大会として申請準備されることや、定員を4000人に増員したことなど新たな取組が検討されました。参加申し込みは7月31日から始まります。
- 4) 「第1回三田市学校部活動の地域展開に係る推進委員会」
学校部活動の地域展開が円滑に進められるよう、毎年実施し

ており、本年度は、7月3日（金）に実施しました。本市においては、「今年度内にすべての学校部活動を終了し、活動主体を地域クラブ活動に移行すること」として事業を進め、関係者の皆様のご理解、ご協力により、29種目54団体に登録していただいております。また、この推進委員会には、今年度から地域クラブの団体の方が委員に加わり、学識経験者や教育関係者、保護者の方とともに、現状等を踏まえて意見交換する場としています。今年度は、8月から多くの地域クラブが本格始動する節目の年度となります。生徒の入会状況や今年度の実施事業等について、委員の皆様からご意見をいただき、地域クラブの推進に取り組んでまいります。

5) 「令和7年度実施 教育委員会の事務に関する点検評価委員会」

今年度から新たにPTA役員経験者として三谷文夫（みたにふみお）氏が委員に加わり、西村篤巳氏、齊藤真理氏の3名の委員により、7月8日（水）に委員会を開催しました。昨年度実施した事業について委員からの質問に事務局から回答する形で進行しました。

6) 「第1回阪神7市1町教育長協議会」

7月15日（水）尼崎市役所にて、阪神地区7市1町の教育長が一同に会し、今回のテーマ4点、「情報教育」「チーム担任制の実施状況等」「いじめ重大事態」「日本語指導体制」について、各市町の状況を踏まえ、意見交換を行いました。

7) 「阪神7市1町教育委員会連合会総会・研修会」

7月16日（木）西宮市役所東館7階において、兵庫県教育委員会連合会主催の阪神7市1町教育委員会連合会総会・研修会が開催され、総会後の研修会では、「地域に根差した医療と教育の連携～西宮市立こども未来センターの取り組み」と題して、西宮市立こども未来センター医療所所長で小児科医の太田秀紀医師から講演をいただきました。

8) 「第4回三田市教育振興基本計画検討委員会」

7月23日（木）当日は、11名の委員がご出席され、来年度から開始する本市の教育振興基本計画の前回（第3回）委員会での審議内容の確認や計画素案の検討を行いました。

9) 「三田市中学生サミット」

昨年度開催した生徒会サミットに続き、今年度、三田市中学生サミットを7月24日（金）に開催し、市内の公立8中学校から16名が参加しました。今年度のテーマは「スマホとSNSの使用について」でした。昨今、発生する誹謗中傷やネットいじめなど、若者が被害者や加害者になることが懸念されていることを踏まえて、中学校の先生方や保護者の方が見守る中、中学生が主体的に討論を行いました。終了後、生徒は引き続き、市長とのミーティングに参加しました。

10) 「第73回兵庫県人権教育研究大会阪神地区大会」

毎年、阪神地区人権・同和教育研究協議会と兵庫県人権教育研究協議会が主催となりますが、今年度は、三田市人権を考える会が主管し、三田学園中学校・高等学校を会場に7月25日（土）に開催されました。「差別の現実から深く学び、生活を高め、未来を保障する教育を確立しよう」という大会テーマを掲げ、阪神7市1町の教職員や関係団体の皆様、あわせて1000人を超える方々が参加されました。5分科会15の分科会で、阪神地域の公私立の保育園、幼稚園、小・中・高等学校、特別支援学校の関係者及び関係機関の皆さんが発表され、学校教育関係者と社会教育関係者との交流が図られました。

11) 「令和8年度 全市版こうみん未来塾 さんだサイエンスフェスティバル」

7月25日（土）三田市まちづくり協働センターで、「令和8年度さんだサイエンスフェスティバル ～川本幸民につづけ！三田の科学の祭典」が開催されました。この事業は、平成23年度に教育委員会で実施し、令和4年度から、こども育成課が主催して「こうみん未来塾」全市版として毎年開催しています。当日は、昨年度、市内の小・中学校の児童生徒が製作した生活科や理科の作品を展示したり、市内の学校関係者や企業、専門家、NPOの皆様、23団体が普段の活動を披露したり、専門性を発揮してブースを設定してくださり、こどももおとなも好奇心に満ち溢れ、ワクワクする姿を会場で目にしました。

12) 「令和8年度 地域社会共生フェスティバル」

7月25日（土）三田市総合福祉保健センターで、「地域社会共生フェスティバル」を開催しました。三田市、三田市教

育委員会、ひまわり特別支援学校が主催し、市内の特別支援学校や小中学校等の児童生徒、その保護者や教職員の方を対象に毎年開催している事業です。今年度は、就労継続支援の作業所や放課後デイサービスなど、15の事業所や職業訓練校が参加され、各施設での生活支援や就労支援について説明してくださいました。今年度から、多目的ホールにギャラリーや会議室を会場に加え開催しましたが、児童生徒や保護者の方、学校関係者などが多数参加され、事業所等からの情報提供の場の必要性を実感しました。
わたしからは以上です。

日程第6 議 事

○教育長
(加嶋 幸彦)

それでは本日の議事に入ります。
冒頭にお伝えしましたとおり議案第20号および報告第18号は非公開として後ほど審議いたします。

○教育長
(加嶋 幸彦)

続きまして、議案第21号「令和8年度使用三田市立学校教科用図書の採択について」ですが、審議に時間を要することから、先に次第第7協議及び報告事項にうつらせていただきます。

日程第7 協議及び報告事項

○教育長
(加嶋 幸彦)

それでは協議及び報告事項に移ります。
報告第18号につきましては冒頭でお伝えしましたとおり、非公開のため後ほど審議いたします。

○教育長
(加嶋 幸彦)

協議第4号「三田市居住環境等保全審査会にかかる委員の選出について」事務局より説明をお願いします。

○教育総務課長
(上月 研一)

協議第4号「三田市居住環境等保全審査会にかかる委員の選出について」事務局より説明
(事務局より大野委員を提案)

○教育長
(加嶋 幸彦)

事務局案のとおり「三田市居住環境等保全審査会委員」について大野委員にお願いしたいと思います。
大野委員いかがでしょうか。

○教育委員
(大野 裕己)

わかりました。

○教育長
(加嶋 幸彦)

ありがとうございます。
それではよろしくお願いいたします。

○教育長
(加嶋 幸彦)

続きまして、報告第19号「8月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明をお願いします。

○教育総務課長
(上月 研一)

報告第19号「8月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明

○教育長
(加嶋 幸彦)

何かご質問等ございますか。
なければこのように進めてまいりますので、8月もよろしく
お願いします。

日程第8 その他 の 報 告

○教育長
(加嶋 幸彦)

では、次回、8月の教育委員会定例会の日程について事務局
からお願いいたします。

○教育総務課長
(上月 研一)

8月教育委員会定例会の開催日時は令和8年8月28日(金)
午後2時00分から、南分館601会議室で予定していま
す。よろしくお願いいたします。

○教育長
(加嶋 幸彦)

それでは、各校長からの報告です。まず中学校代表校長より
報告をお願いいたします。

○中学校校長代表
(藤井 許善)

○三田市総合体育大会・丹有地区総合体育大会

6月下旬から7月中旬にかけて、三田市総合体育大会及び丹有地区総合体育大会が開催されました。競技種目によっては、学校部活動と地域クラブが混在する形での大会運営となりました。三田市大会では、例年ほどの厳しい暑さではなかったものの、丹有大会では、厳しい暑さの中、暑さ指数(WBGT)にも十分配慮しながら大会運営が行われました。また、夏季休業中には県大会に出場した部活動もあり、生徒たちは猛暑の中でも日頃の成果を発揮し、懸命に競技に取り組みました。文化活動においては、吹奏楽コンクール西阪神地区大会が開催され、これについても学校部活動と地域クラブが混在する形での参加となりました。各会場では、生徒たちがこれまでの練習の成果を存分に発揮する姿が見られました。なお、運動部活動については、本年度の総合体育大会を一区切りとして地域展開が進み、地域クラブとしての本格的な活動が始まっているところです。

○学校生活および夏季休業について

学校生活においては、夏季休業前及び休業当初に個人懇談を実施し、保護者とともに1学期の学校生活や学習状況を振り返る機会を設けました。今後の、生徒一人一人の成長に向けて、有意義な情報共有の場となりました。また、こうした1学期のまとめとあわせて、夏季休業前には各校で薬物乱用防止教室や情報モラル教室などを実施し、生徒が長期休業中を安全かつ健全に過ごせるよう意識の向上を図りました。さらに、一部の生徒が参加した中学生サミットや市長とのタウンミーティングでは、学校生活やその関わりについて考える貴重な機会となりました。今後、それらの学びが各校でどのように生かされていくのか期待しているところです。一方、夏季休業期間中においては、各校で学習相談を実施するとともに、学校によっては生徒の居場所づくりを目的とした取組も計画・実施されています。生徒の学習面及び生活面の支援に努めています。また、進路指導の面では、3年生の多くがオープンハイスクールに参加し、自らの進路選択に向けて主体的に考える機会として活用しています。教職員については、夏季休業期間を活用し、多くが校内や校外で実施される各種研修会に参加するなど、資質・能力の向上に努めています。また、部活動の地域展開が進む中、兼職兼業により地域クラブ活動に従事している教職員もいますが、全体としては、こ

れまでの夏季休業期間と比較して一定の時間的ゆとりが生まれている状況も見受けられます。こうした期間を活用し、教職員には心身のリフレッシュを図るとともに、業務改善や計画的な業務遂行、さらなる指導力向上に向けた自己研鑽を進めることが求められています。充実した教育活動につなげていけるよう、教職員一人一人が十分な準備を整え、万全の体制で2学期を迎えたいと考えています。

今後とも、中学校教育の充実に向け、引き続きご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○小学校校長代表
(足立 延也)

○学校のように

6月とは打って変わり、7月は例年通りの暑い日が続きました。この時期、休み時間の外遊び、体育館での体育授業、自校プールでの水泳授業など、熱中症警戒アラートの状況や手元の暑さ指数を気にしながら、その都度、実施判断に迫られる状況が続きました。2学期に入りましても、8月から9月いっぱいには気を抜けない状況が続くことを想定し、気を引き締めていきたいと考えております。7月の小学校の様子ですが、学期末の締めくくりの取組を各学年、学級で丁寧に進め、夏休みの安全・安心な暮らしに向けた指導も積極的に進めていきました。7月17日には終業式を行いました。暑さ対策から、体育館に集合せず、各教室でのオンライン形式で実施した学校も多くあったと聞いています。式の中で、各校長から、1学期の生活や学習での成長や課題を伝え、長い夏休みに向けて各自が明確な目標を持ち、学習や生活に取り組むよう話をしました。こどもたちは、「あゆみ」を受け取り、1学期を振り返るとともに、楽しい夏休みに期待を膨らませ下校していきました。

○夏季休業中のように

夏休みの前半には、学習相談を実施する学校が多くありますが、年々その見直しが進んでおり、中には電話相談を設定する学校もあります。本校は、昨年からは有馬高校の高校生が学習サポーターとなり、2日間、教員と共に宿題支援に当たる相談日を設定しています。また、夏休みの宿題事情も変化しています。ドリルやワークの購入からタブレット端末を活用した宿題への変更や、宿題の量を少なくする学校、自由研究や図工等の作品作りを「必ず提出」から「自由」に変更する学校など、見直しが進んでいます。このような見直しの背景

には、コロナ禍を経験し、子ども達に学びを自己調整する力を育てていこうとしている学校の取組があると捉えています。一方、夏休みの教職員も、夏季休業がスタートして、10日程経過しました。この間、各校での校内研修、また、校外での研修など、自己研鑽に励んでいます。夏季休業中に研修に励むことは、教員として貴重な取組だと思っております。また、この期間に、夏季休暇なども取得し、リフレッシュに努めることも大切だと思っております。夏季休業中に研修を積むとともに、十分リフレッシュする時間も設け、2学期からの教育活動に心身ともに充実した状態で臨んでいけるようにしたいと思っております。2学期には、自然学校や修学旅行、校外学習を予定している学校が多くあります。また、音楽会、研究発表会などを予定している学校も多くあります。夏季休業期間中、こうした学校行事等の準備もしっかり進めていきたいと思っております。今後も教育委員のみなさま、事務局職員の皆様方のご指導ご支援をよろしくお願いいたします。

○教育長
(加嶋 幸彦)

つづきまして、議案第21号にうつります。

(2)教科用図書の採択を行うことについて

【三田市教育委員会事務委任規則第1条第15号】

議案第21号「令和9年度使用三田市立学校教科用図書の採択について」事務局から説明をお願いします。

○教育研修所長
(西浦 健司)

議案第21号「令和9年度使用三田市立学校教科用図書の採択について」事務局から説明。

○三田市立学校教科用図書選定委員会委員長(伊藤 博之)

「令和9年度使用三田市立学校教科用図書の採択について」三田市立学校教科用図書選定委員会の経過等を資料により概要説明。

○三田市立学校教科用図書選定委員会副委員長(福岡 孝太郎)

「令和9年度使用三田市立学校教科用図書の採択に関する答申」【学校教育法附則第9条の規定による一般図書】について、内容説明。

○教育長
(加嶋 幸彦)

ありがとうございました。
何かご質問、ご意見等ございますか。

○教育委員
(ルーベッシュ裕子)

音が出る絵本についてですが、音量調整はできるようになっていますか。オンとオフの切り替えのみで音量は一定になりますか。音に敏感なお子さんや、大きな音が苦手なお子さんもいると思うので教えてください。

○三田市立学校教科用図書選定委員会委員長 (伊藤 博之)

音量調節はできないので、オンとオフだけになります。
※実物の絵本を確認

○教育委員
(ルーベッシュ裕子)

今、実際に音を聞いてみると、それほど大きな音ではないようなので安心しました。辞典については、索引が丁寧に書かれてあるので、子どもが自分の興味関心のあるものを、自分でどんどん見つけられるようになっているので楽しみが増えると思います。

○教育委員
(三木 尚美)

良い本を選んでいただいていると思います。具体的で、視覚に訴えるものが多いので、目で見てわかりやすいものを選んでもらえていることはありがたいと思います。また、SNSに関することなど、トラブルになりやすい事項について、新しい時代にあったルール等をわかりやすく学べると思います。性に関する本についても、親から子へはなかなかスムーズに教えられることではないと思いますので、選んでいただいた本がイラストも含め、大変分かりやすく説明されているので安心しました。

○教育委員
(大野 裕己)

今年度選ばれた新規の本を見ても、多様な学習が行われることが想定されます。発達に即しながら、主体として社会に参加していくことに向けて採択を行っていただけたと思いました。学校でも頑張って取り組んでいただきたいと思います。

○教育長
(加嶋 幸彦)

他に何かご質問はございませんでしょうか。
学校教育法附則第9条の規定による一般図書については、新たに追加された16冊を加えた359冊に、先ほど説明があ

りました※印の下の学年で使用する場合、特別支援学級及び特別支援学校小中学部で拡大教科書を使用する場合も含めて採択してよろしいでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長
(加嶋 幸彦)

それでは学校教育法附則第9条の規定による一般図書については、答申どおり採択します。

以上で採択を終わります。

《教科用図書選定委員会委員 退室》

○教育長
(加嶋 幸彦)

それでは、ここからは非公開事案となりますので事務局関係者以外のご退室をお願いいたします。

《事務局関係者以外退室》

《非公開審議》

○教育長
(加嶋 幸彦)

それでは以上をもちまして教育委員会定例会を閉会いたします。